

# 小松SSHだより

## 石川県立小松高等学校

第1号 R5年5月  
編集 :SSH推進委員会  
発行責任者 :米口 一彦

### 「正答のない問題に粘り強く取り組み、解決することができる探究力を持った人材の育成」

本校は、平成18年から15年間（5年×3期）にわたりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業に取り組んできました。SSHⅣ期の研究開発課題は「正答のない問題に粘り強く取り組み、解決することができる探究力を持った人材の育成」です。今年度はSSH実践型Ⅳ期第3年次となります。

Ⅳ期ではⅢ期目から実施しているE1の概念を用いた探究力検査「E1検査」に加え、定期考査における「探究力を測る問題」によって探究力の伸長度の測定も継続して実施し、これらを様々な評価方法と組み合わせて探究活動の成果を検証する方法を検討してきました。Ⅳ期第3年次の今年度は、課題発見型および領域融合型授業の普及と課題研究の取組のさらなる充実に努めます。

## ●令和5年度 SSH事業予定●

### 学校設定科目

#### ●課題探究Ⅰ（理数科1年生）

様々な分野の実験を中心とした学習により探究スキルを育成します。テーマ発表会や指導教員による指導・助言を受けて、課題研究を開始します。



#### ●探究基礎（普通科1年生）

4月～7月はディベート小論文を中心に論理的思考力を養い、証拠による論証の仕方を学びます。9月はデータサイエンス講座を行います。10月以降はグループに分かれて探究スキル育成講座を行い、探究活動に必要な知識・技能を習得します。



#### ●プレゼンテーション&ディスカッション（1年生全員）

情報Ⅰの内容のうち、情報とメディア、情報セキュリティ等の探究活動に必要な部分を学習し、科学的テーマを取り扱った発表能力、討論能力を育成します。また、口頭発表に必要な技術や、発表用ファイル作成のための技術を習得します。



#### ●課題探究Ⅱ（理数科2年生）

大学の先生のアドバイスを受け、少人数グループによる課題研究を行います。そしてその成果を、校内及び校外で口頭発表、ポスター発表（日本語、英語）します。また、大学・企業との効果的な連携方法を模索します。



#### ●課題探究（普通科理系2年生）

通常授業や「探究基礎」で育成された課題発見能力、探究スキルを用いて課題を設定し、課題研究を行います。また、クラス内発表会、校内発表会を行い発表能力を育成します。



#### ●課題探究Ⅲ（理数科3年生）

科目融合、領域融合型の発展的な内容を学習し、少人数グループでの探究活動を通してデータ処理能力、問題解決能力の向上を目指します。現実の課題を解決するプロセスを経験することで、大学での学びにつなげていきます。



## ●科学探究（普通科理系3年生）

発展的な実験活動を通して、データ処理能力、問題解決能力を身につけます。さらに、科目融合、領域融合型の学習を行い、科目の枠にとらわれず各々の領域の知識を柔軟に関連づけ、探究力の向上を目指します。



## 校外学習予定

### ●生物分野の野外実習（理数科1年生）

日時：7月20日（木）～21日（金）  
場所：のと海洋ふれあいセンター、能登少年自然の家  
内容：ウニの発生実験、海辺の生物採集観察などを行います。



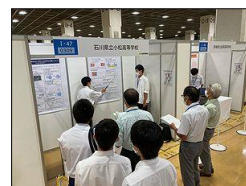
### ●大学実験セミナー（理数科2年生）

日時：7月25日（火）～26日（水）  
場所：北陸先端科学技術大学院大学  
内容：今年度から北陸先端科学技術大学院大学にて実験セミナーを行います。韓国大田科学高校の生徒も来日し、一緒にセミナーを行います。



### ●全国SSH生徒研究発表会（理数科3年生課題研究代表1グループ）

日時：8月9日（水）～10日（木）  
場所：神戸国際展示場  
内容：全国のSSH校が一同に集まり研究発表会を行います。



### ●課題探究I 校外学習（理数科1年生）

日時：8月3日（木）  
場所：石川樹脂工業（株）他  
内容：実際にもものづくりの現場を体験し、ものづくりに対する理解を深めます。



### ●地学分野の野外実習（理数科1年生、普通科1年生の希望者）

日時：8月17日（木）  
場所：金沢市銚子町付近（大桑層）  
内容：化石採集や地層観察などを行います。



### ●関東サイエンスツアー（理数科1年生）

日時：9月19日（火）～20日（水）  
場所：東京大学他  
内容：最先端の科学研究に触れ、技術者や研究者と接することで見識を深めます。



### ●韓国大田科学高校との科学交流（理数科2年希望者）

日時：12月10日（日）～13日（水）  
場所：韓国大田科学高校、韓国科学技術院他  
内容：大田科学高校を訪問し、課題研究のポスター発表（英語）を行うなど、大田科学高校の生徒と交流を深めます。

